

2010年2月26日

株式会社アトラス、NLM DTDに対応したXMLを作成するための
Microsoft® Word用プラグインソフト開発に着手

株式会社アトラスは米国医学図書館（NLM）が提唱する学術出版の電子化向けDTD（文書型定義）に準拠したXMLをMicrosoft® Wordから作成できるMicrosoft® Word用プラグインソフト「WXA（Word to Xml for Article）」の開発に着手しました。

「WXA」はMicrosoft® Word2007で作成された投稿論文の最終原稿（著者最終原稿）ファイルからNLM DTDに準拠したXMLを作成するプラグインソフトです。

Word上から最終原稿にタイトルや著者名、引用文献などの位置をマウス操作で設定することによりNLM DTDに準拠したXMLを簡単に作成することができます。また、引用文献をPubMedやCrossRefなどの文献情報提供サイトへ自動的に検索させることも可能です。

作成されたXMLを用いることで、電子ジャーナルサイトや文献データベースなどへの掲載も容易になり、学術系リポジトリへの利用にも期待できます。また、安価な導入コストを実現し、中小規模の出版会社、印刷会社は勿論のこと、研究者個人にも導入可能な製品を目指します。今後、製品化に向けて開発を進め、2010年度中の販売開始を予定しています。

株式会社アトラスについて (<http://www.atlas.jp/>)

株式会社アトラス（東京都中央区）は、1986年に創業されたシステム開発会社で、約10年前から日本の学術雑誌の電子化システムに取り組んできた。2003年に独立行政法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナル総合サイトである科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）のリニューアル開発を行い、現在もその運用をおこなっている。日本の電子ジャーナル関連システム企業のパイオニアである。

【本件に関するお問い合わせ】

■会社名 株式会社アトラス

電子ジャーナルシステム事業部 ビジネスソリューショングループ

■TEL 03-5642-9360

■FAX 03-5642-9362

以上